



4月内決着をめざし 団結固く2012春闘を 闘いぬこう!



2012年
4月17日
No. 908

全国一般石川地方
労働組合 教宣部
金沢市駅西本町3-13-5
Tel 076 (262) 0724
発行人 久田友恒

2012春闘 回答・妥結状況一覧 (4/17現在)

職場名	交渉状況	昨年実績	賃上げ要求	付帯要求
城東自校		3,850円	<自校統一要求> 基本給9,000円	賃金是正、バス部門賃上げ率引き上げ、定年後再雇用者の時間給引き上げほか
東部自校	回答3,700円	3,850円	最低賃金 指導員 16万円 事務・バス 15万円	賃金是正、育児・介護休暇(有給)、定年後再雇用者の組合員化、通勤手当実費支給ほか
北鉄自校		3,850円		定年前賃金カット廃止、若年層の是正、閑散期時差勤撤廃(入社5年未満の者)ほか
北中自校		3,850円	退職金確保の各種要求	資格手当見直し、物価手当是正、教習料金の家族割引の改善、有休最高25日
羽昨自校			裁判員制度の公休扱い	指導員の増員
能中自校			厚生年金の報酬比例部分相当額の支給要求	未解決の春闘・一時金の解決、有休最高25日、健診充実
加南加賀自校				賃金カット回復、未解決の春闘・一時金の解決、若年層別原資是正、制服貸与ほか
北陸冷蔵	600円	1,400円	<食品冷蔵統一要求> 基本給9,000円	①② 人員補充ほか
市場冷蔵		100円		② 手当改善、定年後再雇用制度の協定化ほか
魚市冷蔵		2,410円	魚市:賃金表の金額	② 定年後の希望者全員再雇用、半日有休増ほか
天狗産業	回答3,011円 嘱託10円 パート5円	3,386円 嘱託10円 パート5円	天狗コスモス:時給50円 芝寿し:時給50円	① 休日増ほか
金沢製粉		5,115円		① 一部組合員の待遇改善、勤務時間帯の改善、人員補充、有休取得についてほか
芝寿し		時給5円		② 賃金是正、準社員の新規採用、契約社員の準社員としての登用・賃上げ基準について、休日増
林ベニヤ	回答1,969円	5,057円	9,000円	①② 石川サンケン労組との同率回答、門前工場再開、通勤手当改善、若年層別原資是正ほか
門前サンケン	回答3,818円	3,108円	9,000円	② 休日増、組合掲示板、退職金協定ほか
丸一石油	回答1,000円	2,617円	9,000円	① 定年後の希望者全員再雇用
北国製紙	回答1,000円	1,500円	9,000円	①②
金沢市清掃	回答2,000円	2,000円	9,000円	① 大同工業正社員との賃金格差是正、大同工業へ直接雇用(正社員)働きかけほか
北陸葬祭			9,000円	中退共掛金増、定年後再雇用制度の協定化
大同テクノ	妥結4,265円	3,400円	9,000円	施設改善、勤務時間帯の改善
執行官室	妥結1,000円	1,000円	9,000円	65歳までの定年延長
れん永昌堂			9,000円 (時給者は50円)	
日本海観光	回答1,310円		9,000円	

※ 連合石川スタッフユニオンは別途要求。

↑①企業内最賃、②定年後再雇用者の厚生年金報酬比例部分相当額の支給要求

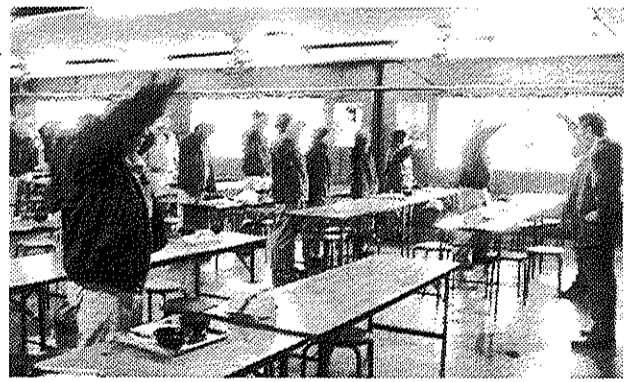
三月冒頭の要求提出より今日まで、二十五支部分会単組のうち、妥結はいまだわずかであり、半数以上の職場が回答さえ出していない。多くの職場で、経営者は、業績不振、先行き見通しの不透明などを理由に、たとえ回答しても、その多くが超低額回答です。生活の維持向上、大手との格差

是正のために、職場での閉結をより強くして、四月内決着をめざし、最後まで奮闘しましょう。
**生活できる賃金！
全ての職場で賃上げを！**
三月半ばの民間大手の妥結状況を引合いにして、自らの超低額回答を正当化、開き直る経営者もいます。

しかし、言うまでもなく、民間大手がたとえアゼロだとしても、おおよそ五千人以上の定期昇給があるのであって、超低額回答が許されるはずがありません。多くの職場で、何年もの間、賃上げが大幅に抑え込まれてきました。その結果、賃金カーブは寝てしまい、先輩の賃金に追いつけない

水準を強いられています。多くの職場で総額人件費は急速に小さくなっていきます。地域の賃上げ状況を見ても、連合石川では加重平均四、九七三円が出ているのです(四月十三日現在)。
生活できる賃金、少なくとも先輩の賃金に追いつける賃上げをめざしてさらにながらばっていきましょう。
そして、経営状況がきわめて厳しい職場においては、賃上げとともに、職場と雇用を守るためにがんばる仲間もいます。職場間にも奮闘していきましょう。

メインスローガン「日本全体でつながり、支え合おう！すべての働く者の連帯で、働くことを軸とする安心社会を実現しよう！」
第83回石川県統一メーデー
5月1日(火) (小松能美は4月28日)
県内8ヶ所で開催。参加をお願いします！



地本執行部による全職場の回答促進行動。春闘勝利にむけ組合員の団結を固める(3/19 林ベニヤ七尾)

争議職場の支援を強化しよう！

工場の閉鎖、配転の強行、そして団交拒否や組合つぶしと闘う門前サンケン支部の闘い、親会社正社員としての雇用・均等待遇を求め闘う大同テクノ分会、病氣休職を理由にして組合員の職場復帰を拒否し解雇を強行した会社と闘う天狗支部、そして賃金カットの回復や未解決の春闘・一時金闘争を粘り強く闘う仲間！これら激しい闘いを粘り強く闘う各支部分会の仲間への支援をさらに強化し、闘っていきましょう。労働委員会や裁判の傍聴だけでなく、職場独自の激励行動などにも取り組んでいきましょう。

大飯原発、志賀原発の再稼働反対！ 脱原発を闘おう！

東日本大震災、東電福島

第一原発事故より一年以上が経過しました。しかし復興はまだ進んでいません。とりわけ原発事故は、あたかも収束したかのよう報道がされています。しかし、今なお膨大な放射性物質が排出され、汚染や健康被害への不安は何ひとつ解決していません。
しかし政府は、事故原因の究明も定かでない、当面の安全対策さえおざなりなままに、大飯原発三・四号機の再稼働に進んでいます。また志賀原発の再稼働も狙っています。
被災した働く仲間への支援、原発のない社会をめざして再稼働を許さない脱原発の闘いをさらに強めていきましょう。

新たな仲間を全国一般に組織拡大に取り組みよう！

これらの闘いの中で、新たな仲間の全国一般への結集、組織拡大にも全力をあげていきましょう。
労働組合の組織率は今や十八%台にまで落ち込んでいます。しかし、未組織の仲間が満足しているからではありません。相談することさえないまま、職場を去らざるを得ない仲間もたくさんいます。

まずは労働相談から！そのために、各職場・部会で論議を開始しましょう。そして具体的な目標や行動計画を作り、実行しましょう。賃上げをはじめとする諸闘争を通じて、新たな仲間の結集を実現しましょう。ともにがんばりましょう。

大飯3・4号機の再稼動に慎重な判断を求める市民集会

急ピッチに進む 大飯原発三・四号機の 再稼動を許すな!

「原発稼働ゼロ」の事態を回避するために政府・電力各社が停止中の原発再稼動に向けて、なりふりかまわぬ動きを始めています。

こうした中で三月二十五日、福井市中央公園において大飯三、四号機の再稼動反対する集会が開催されました。この集会には、北信越ブロックと滋賀や京都など関西方面から総勢七〇〇

名が結集しました。地本から十一名の仲間が、石川県平和運動センターの仲間とともに大型バスで駆けつけました。

集会は、主催者を代表し中島哲演氏が「第二のフクシマを許さない、美しい若狭湾を取り戻す」ため、福井県庁前での断食で体を張って闘う決意を表明。また原子力資料室、原水禁、滋



「大飯・志賀原発を動かすな」の横断幕を掲げ決起集会に参加した地本の仲間たち

賀、京都の各代表から「電力、経済より命を守れ」との連帯の挨拶がありました。当日は、あられ混じりの寒風吹きすさぶなか、地本の仲間「原発のない社会を作ろう!」の横断幕を掲

げてデモ行進し、原発再稼動の突破口としての大飯三、四号機の再稼動反対・志賀原発の再稼動反対も訴えてきました。

もかわらず、四月十三日、政府は大飯原発の再稼働が「妥当だ」と安全宣言しました。早速、枝野経産相が福井県に乗り込み再稼働の地元同意を迫りましたが、関西圏の了解を条件に突き付けられ、五月には全原発が停止する見込みです。

全国で巻き起こっている多くの再稼動反対の声を無視し、福島原発の事故原因が未だ何ら究明されないに

私たちは、廃炉に向け再稼働阻止の闘いを粘り強く続けていきましょう!

四閣僚の「政治判断」で決められてたまるか!

中労委で親会社サンケン電気の、県労委・地裁で石川サンケンの責任追及再び門前工場に戻るために闘う支部の仲間を支援しよう!

●地裁七尾(就労義務不存在確認・損害賠償)
三月十四日、金沢地裁(七尾支部)の公判が行われました。支部四役・執行委員の仲間もかけつけ傍聴しました。

●中労委(再審査/サンケン電気の回交拒否)
四月六日、中央労働委員会(東京)の第二回調査が行なわれました。(昨年十月、県労委が親会社サンケン電気の回交拒否を不当労働行為として認めない不当命令を出したことで、組合が再審査申立。)組合からは下野支部長、尾崎地本書記次長が、また補佐人の亀崎評議会議事務局長、田島特別幹事が出席。

●県労委(会社による組合脱退そのかし)
三月十六日、県労委の第二回調査が行なわれました。(会社が十七名の支部組合員に対し脱退とチェックオフ中止をそののとした不当労働行為事件。)組

合からは下野支部長、稲生書記長、尾崎地本書記次長らが、会社は柳澤副社長らが出席。前回までの流れで県労委側から要請もあり、脱退表明者十七名全員に対し尋問する方向で検討が進んでいます。会社は全員の尋問に難色を示しました。次回は五月十四日。

また地裁に提出した二十二名の陳述書も提出。尾崎書記次長の証人申請も確認されました。次回は五月二十三日。

活発な質疑・意見交換が行なわれました。内容は、元組合役員の加藤さんの病氣休業後の復職を拒否している問題(天狗)、職場の取り組み(門前サンケン)、輪島市のがれき受け入れ表明問題(城東自校・林ベニヤ)についてです。

最後に本田副委員長による閉会挨拶と久田委員長からの団結ガンパウで労働学校をしめくくりました。

地本春闘労働学校で学習・討論

全社会に目をむけて 今春闘を闘いぬくぞ!

三月二十一日、地本二〇一春闘労働学校が県地場産業センターで開催されました。

大手労組の集中回答日から「定昇延期」「賃金カット」「リストラ」が発表された今春闘。中小労組にとって逆風が厳しく吹き荒れ



地本の仲間に語りかける高原特執

ています。東日本大震災・福島原発事故はまったく収束していません。政府による「税と社会保障の一体改革」という名の増税も叫ばれています。

冒頭、久田執行委員長が、こうした事態に労働組合が立ち向かえていないなかで、私たちは労働者として視野を広げしっかり学習・討論しようと呼びかけました。

メインは、地本の高原特別執行委員が「目を見開き世界の現実、日本の現実そして職場の現実といかに闘うか」と題して講演されました。①未組織労働者を組

織化できる魅力ある労働組合への再生、②地本の闘争税・社会保障の切り下げに反対、④TPPの交渉参加に反対、⑤すべての原発再稼動・核開発反対、⑥普天間基地撤去、辺野古新基地建設反対、⑦全国の労働者と「絆」・連帯をつくり闘う、この七点を強く訴えました。

●県労委(会社による組合脱退そのかし)
三月十六日、県労委の第二回調査が行なわれました。(会社が十七名の支部組合員に対し脱退とチェックオフ中止をそののとした不当労働行為事件。)組

合からは下野支部長、稲生書記長、尾崎地本書記次長らが、会社は柳澤副社長らが出席。前回までの流れで県労委側から要請もあり、脱退表明者十七名全員に対し尋問する方向で検討が進んでいます。会社は全員の尋問に難色を示しました。次回は五月十四日。

また地裁に提出した二十二名の陳述書も提出。尾崎書記次長の証人申請も確認されました。次回は五月二十三日。